

平成28年度 事業報告書

I. 事業内容

1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究事業

(1) 「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積」に関する調査及び研究

<自主調査>

北陸地域（富山県、石川県、福井県）においては、今後の少子高齢化の進展や健康への関心の高まりなどから、有望な成長分野と考えられるライフサイエンス産業について、全国トップクラスの医薬品産業に加え、医療機器産業、機能的食品・化粧品等の健康産業の活性化を図るべく、企業集積や特色ある大学群の集積等の連携を図るクラスター形成の取り組みが続けられている。

こうした中で、北陸地域のポテンシャル、地域特性等を最大限生かしてイノベーションの促進や資金循環の活性化を図るべく、ライフサイエンスクラスターの更なる発展に向けた方向性、施策について考察、分析、提言を行うため、報告書として取り纏めた。

【実施概要】

- ①クラスター政策の分析枠組みにおいては、早稲田大学藤田誠教授のクラスターモデル（藤田モデル）を活用して分析視点を整理した。
- ②内外ライフサイエンスクラスター比較においては、内外のクラスターを比較検討することで、北陸地域におけるライフサイエンスクラスターを示唆した。
- ③北陸地域におけるライフサイエンス産業の方向性においては、北陸産業競争力協議会により2014年に策定された「北陸産業競争力強化戦略」を踏まえた上で、北陸地域におけるライフサイエンス産業の動向やポテンシャル、地域特性の活用を勘案することで、今後の方向性を導出した。
- ④北陸地域におけるライフサイエンスクラスターの更なる発展に向けてでは、クラスター政策のあり方について藤田モデルの分析枠組みを用いながら提言した。

【調査結果】

北陸地域におけるライフサイエンスクラスターの更なる発展に向けては、革新的な技術シーズやものづくり基盤等がありながら、低密度で分散し、相互に必ずしも十分に連携しておらず、ライフサイエンスクラスターの形成期にあるといえる北陸地域にあつて、①薬効の追及/特殊剤形の工夫、②多様なものづくり技術基盤の活用、③配置薬/漢方薬の再活用、④検査・診断への取組、⑤健康産業の育成、⑥先端分野への挑戦、⑦企業誘致、⑧健康ツーリズムの8つの方向性が重要である。

各地の企業、病院、大学等が中心となって関係主体と連携しながら小規模クラスターを構築し、そのうえで、広汎性発達障害、認知症、がん、生活習慣病などの疾病、症例別に研究

開発拠点の連携ネットワークを構築することが大切である。ネットワークの密度を高めるには、情報の共有と受発信、事業化プロセスの支援が必要である。製品化に結びつける研究開発、事業化・資金調達できるコーディネータの育成、研究開発から生産・販売に至る切れ目ない支援、ベンチャーキャピタルやエンジェルなど潤沢な外部資金の確保、医師のニーズを出発点として医師とエンジニアが連携・協働するような事業化システムの構築などがあげられる。

また、それらの取り組みを統括する組織を構築することで、域内連携、国内連携、国際連携といった各方面の連携においてより効果的な取り組みが可能となる可能性があり、北陸 3 県の連携体制が重要である。そして国家戦略特区の指定による県際協議会の設置がひとつの方策であることを示した。

調査委員会

回	開催日	開催場所
第 1 回	平成 2 8 年 8 月 2 日 (火)	金沢市 金沢都ホテル
第 2 回	平成 2 8 年 9 月 1 4 日 (水)	金沢市 金沢都ホテル
第 3 回	平成 2 8 年 1 1 月 4 日 (金)	金沢市 金沢都ホテル
第 4 回	平成 2 9 年 2 月 1 日 (水)	金沢市 金沢都ホテル

2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトに必要なコンサルティング及び支援事業

(1) 産・学・官との連携と支援活動

A. サステナブルテクノロジーセミナー

当財団では、平成26年度より、北陸地域において持続可能な社会を実現するための技術を見出し、企業や大学の研究者に広く情報を提供し実用化を後押しすることを目的に、サステナブルテクノロジーセミナーを開催している。今年度のセミナーでは、地域に存在している未利用バイオマスを有効利用するために重要となる、小容量かつ高効率のバイオマス発電装置の開発状況およびその実用化に向けた当財団の取り組みについて報告した。

【第3回サステナブルテクノロジーセミナー】

「地中熱・地下水熱利用の現状と課題～今後の事業化・普及促進に向けて～」

〔主 催〕 一般財団法人 北陸産業活性化センター
金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構協力会

〔開催日〕 平成28年11月28日（月）

〔開催場所〕 金沢市 金沢大学

〔参加者数〕 29名

〔第1部：研究室の概要説明〕

① 熱機関研究室

金沢大学 理工研究域 機械工学系 准教授 榎本 啓士氏

② 環境バイオマス工学研究室

金沢大学 環境バイオマス工学研究室 助教 本多 了氏

③ 小容量バイオマス利用研究会概要説明

一般財団法人北陸産業活性化センター

産学官連携コーディネータ 常山 知広

〔第2部：研究室見学〕

・熱機関研究室・環境バイオマス工学研究室見学

〔第3部：質疑応答〕

B. 小容量バイオマス利用研究会

<研究会主旨>

- ① 1時間あたり10kgから20kgのバイオマスを処理し、熱と電力を取出す機構の実用化
- ② 実用化された機構を活用する地域貢献モデルとビジネスモデル（その全体を事業として回していくことが出来る地域の条件や各種外部要因の特定など）の提案
- ③ 燃焼機（反応機）の認証機構に求める要素策定

得られた成果は、広く公開し、年度の後半では実際のコンソーシアム組成、国・自治体等の補助金申請、国・自治体等への政策提言等具体的な成果に繋げる活動を行う。

<研究会活動方針>

- ・地域毎の事情に合わせた、“材”と“財”の循環を実現していくために必要なプレーヤーを特定し、研究会への参加を促していく。
- ・そのためには、地域毎の事情を数字に基づいて把握する必要があることから、地域経営を担う自治体の参加者を歓迎する。

[スケジュール]

- 1年目～ 産学官の体制構築
- 2年目～ 地域毎の実情調査、研究開発および実証試験の準備
- 3年目～ 地域での実証試験
- 5年目 実用化

・研究会開催実績

第1回	平成28年5月11日(水)	富山市 北酸株式会社	11名
第2回	平成28年6月24日(金)	石川県能美市 株式会社タガミ・イーエクス	21名
第3回	平成28年7月22日(金)	富山県氷見市 岸田木材株式会社 氷見市民プール	14名
第4回	平成28年8月29日(月)	金沢市 金沢大学	15名
第5回	平成28年10月7日(金)	富山県南砺市 桜ヶ池エコビレッジ支援センター 「ECOTO」	9名
第6回	平成28年11月4日(金)	富山市 富山国際大学 とやまペレット	17名

平成29年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業 申請

平成29年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業（NEDO）申請

平成29年度「地域中核企業創出・支援事業」公募（経済産業省）申請

C. 研究会との連携

旧「北陸ものづくり創生協議会」のメンバーが継続している4研究会（ほくりく環境・バイオマス研究会など）と共同事業を実施した。

【北陸産業活性化フォーラム】

「基調講演」および4研究会のメンバーによる「異分野連携交流会」を実施した。

〔開催日〕 平成28年12月2日(金)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔主 催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔共 催〕 NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会

〔参加者〕 80名

〔プログラム〕

・基調講演

「明和工業のバイオマス利活用技術」

＜講師＞ 明和工業株式会社 代表取締役

ほくりく環境・バイオマス研究会 副会長 北野 滋 氏

・異分野連携交流会

＜出展社数＞ 27企業・団体

各研究会の活動のPRおよび異分野の業種が情報交換等を行う場として 交流会を開催した。各研究会のメンバー・関連団体がブース出展し、事業活動や製品についてポスターセッションを行った他、参加者が情報交換などを行った。

(2) 国等の事業の支援

国、地方自治体、国立研究開発法人、大学法人、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛等の支援を実施した。

A. 北陸技術交流テクノフェア〔共催〕

当財団の概要や「R&D推進・研究助成事業」の概要と平成25年度採択件名の研究成果及び「北陸ライフサイエンスクラスター」事業を紹介した。

〔開催日〕 平成28年10月20日（木）～21日（金）

〔開催場所〕 福井市 福井県産業会館

〔主催団体〕 技術交流テクノフェア実行委員会

B. しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2016」〔後援〕

〔開催日〕 平成28年10月19日（水）

〔開催場所〕 金沢市 石川県産業展示館

〔主催団体〕 一般社団法人北陸地区信用金庫協会

C. 国際ガラス展・金沢2016〔後援〕

〔開催日〕 平成28年10月19日（水）～10月31日（月）

〔開催場所〕 金沢市 石川県政記念 しいのき迎賓館

〔主催団体〕 国際ガラス展・金沢開催委員会

D. M a c h i n g H U B K a n a z a w a 2 0 1 6〔後援〕

〔開催日〕 平成28年11月1日（火）

〔開催場所〕 金沢市 ANAクラウンプラザホテル金沢

- 〔開催日〕 平成28年11月2日（水）
 〔開催場所〕 ホテル日航金沢
 〔主催団体〕 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学産学連携本部産学官連携総合推進センター
 公益財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団
 独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部
 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

E. 中部圏社会経済研究所 研究報告・定例講演会〔後援〕

- 〔開催日〕 平成28年12月9日（金）
 〔開催場所〕 金沢市 金沢ニューグランドホテル
 〔主催団体〕 公益財団法人中部社会経済研究所

F. 2017 産業技術総合研究所中部センター研究講演会〔後援〕

- 〔開催日〕 平成29年2月13日（月）
 〔開催場所〕 名古屋市 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）
 〔主催団体〕 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

(3) 技術アドバイス・コーディネート活動

当財団の産学官連携コーディネータが、産・学・官のマッチングを通じて課題を解決し、新規の成果に結びつけるべく活動を行った。企業、大学、自治体等から依頼を受けた案件については適切な相手先を紹介、またこれらを訪問し自ら発掘した技術シーズ・ニーズについては関心を持ちそうな相手先に提案を行った。当財団のR&D推進・研究助成に採択されたテーマのフォロー活動も行った。

コーディネート活動	件数	具体的内容・成果
新規訪問件数	65件	
依頼件数・提案件数	32件	
マッチング成立	14件	産学1件、産産2件、産官4件 その他（研究会案件）7件
さらなる進展あり	7件	

3. 文部科学省補助事業:地域イノベーション戦略支援プログラム

(1) 「北陸ライフサイエンスクラスター」事業

この事業は、少子高齢化社会の課題解決に貢献する国際競争力のあるライフサイエンス研究開発機能の強化と開発成果を生かした健康・医療関連産業の創出をテーマとし、老若男女がいきいきと暮らせる「健やかな少子高齢化社会」の実現に向けて、北陸3県の産学金官の各機関と地域社会が一体となって、予防から診断、治療、さらに治療後の予防を含めた一体的な取り組みを進めた。本事業により、研究者の招へいや事業推進等のための地域連携コーディネータ（以下コーディネータという）を配置することに加え、地域事業も組み合わせることで、自立的かつ持続的な国際競争力を有するクラスター形成を進めた。

地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積は、国立大学法人富山大学、公立大学法人富山県立大学、国立大学法人金沢大学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学、学校法人金沢医科大学、国立大学法人福井大学、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターの各機関で行った。

当財団は大学等の知のネットワークの構築を行う総合調整機関として、「北陸ライフサイエンスクラスター推進室」を設置し、プロジェクトディレクター（1名）、統括コーディネータ（1名）、地域連携コーディネータ（4名）、研究補助員（1名）を本事業専任として配置を行った。北陸ライフサイエンスクラスター推進室は本部を当財団に置き、富山ブランチ（富山県富山市）、福井ブランチ（福井県福井市）を設け、3県にまたがる広いエリアでの効率的な活動を行った。プロジェクトディレクター、統括コーディネータ、地域連携コーディネータ等が、各参画機関との連絡を密にし、研究開発の進捗管理、事業化に向けた情報収集・提供、競争的外部資金の獲得に向けた活動を行った。本事業は4年度目を迎え、招へい研究者の研究開発が進み、論文投稿、学会発表等が活発に行われ、事業化に向けた試作品等の作成・評価も順調に進んでいる。

A. 研究開発テーマ

分野名	研究テーマ名	研究代表者	本事業で招へいする研究者
1. 予防システム	新規TLRリガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発	富山大学大学院医学薬学研究部 客員教授 高津聖志	研究員 岡本直樹
2. 診断システム	生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発に向けた基盤研究	金沢大学大学院医学系研究科 教授 金子周一	特任准教授 石井清朗
2. 診断システム	健康長寿社会の実現に向けた革新的デバイスを用いたチップ型ナノバイオ計測システムの創成	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 教授 高村 禅	特任准教授 BIYANI, Manish

2. 診断システム	生活習慣病の発症・進展における新規ターゲットとしての Toxic AGEs (TAGE) の関与とその阻止	金沢医科大学総合医学研究所 教授 竹内正義	特定助教 坂井亜紀子
3. 治療システム	抗原特異的な抗体産生細胞新規同定法の開発とその応用	富山大学大学院理工学研究部 (工学) 教授 磯部正治	研究員 松澤 峻
3. 治療システム	代謝工学を用いた抗炎症剤の開発	富山県立大学工学部 教授 榊 利之	嘱託研究員 西川美宇
3. 治療システム	チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用器具、インプラントの作製	福井大学医学部 教授 菊田健一郎	特命准教授 多田弘幸
3. 治療システム	生理活性ペプチドを用いる新たながん診断・治療戦略	福井大学医学部 准教授 水谷哲也	研究員 前野光生
3. 治療システム	陽子線癌治療における高度な照射法に対応した検証技術の開発	若狭湾エネルギー研究センター 主任研究員 久米 恭	主査研究員 伊東富由美

本事業では、事業最終年度末（平成29年度末）までに事業化し、製品を海外市場で販売することが要求されている。招へい研究者の開発製品で、平成28年度末で海外市場へ展開できるのは、抗体産生細胞同定法（富山大学）、外科用手術器具（福井大学）、代謝工学を用いた抗炎症剤（富山県立大学）の3件となった。

B. 活動概要

北陸地域においてライフサイエンス分野での研究開発の展開と、その成果の事業化、さらには人材育成等を図ることにより、世界からヒト、カネ、モノ、情報が自律的に集まるクラスターが形成され、国際的な研究開発拠点の形成、国際競争力を有する産業創出が進むイノベーションエコシステムを実現するため、当財団に設置された北陸ライフサイエンスクラスター推進室が中心となり、クラスター推進協議会のメンバーである富山、石川、福井3県の大学、業界団体、金融機関、各県の産業振興担当課、産業支援機関が連携し目標達成に向けた活動を着実に推進した。

文部科学省により事業期間の中間に行われた中間評価（平成27年度実施）では、本事業は国際競争力強化地域であることから、海外市場向け戦略的情報発信を行い海外機関との連携を行なうことや、3県連携によるシナジー効果創出により一層海外からヒト・モノ・カネを引き付ける等の指摘を受けた。この対応として、海外への情報発信強化、招へい研究者等が開発した製品・サービスの国際展示会への出展、地域に4つの小規模な拠点を構築する等の活動に取り組んだ。更にこれまでの「ほくりく健康創造クラスター」や国や県の産学官連携により進めてきた研究開発案件などもフォローしつつ、国際的なクラスター形成に向けた活動を展開した。

C. 大学等知のネットワークの構築

北陸地域のライフサイエンス産業のポテンシャルは、医薬品産業は富山県の生産高が国内第1位（厚生労働省平成27年薬事工業生産動態統計年報）と高いが、医療機器産業、健康産業ともに低い。地域においてイノベーションが創出され、産業が集積するためには、地域経済全体が起業家経済となっていることが重要で、ハイテク産業のみ育成するだけでは産業集積は難しく、ミドルテク産業、ローテク産業、ノーテク産業も必要となる。本事業では特にベンチャー企業やスタートアップ企業の支援を行った。

①地域連携コーディネータの活動

地域連携コーディネータは、招へい研究者の開発成果の企業への橋渡しを迅速に行うこと、出口の拡大を目指して地域内外の企業等とのネットワーク構築、海外市場調査、海外パートナーの探索等のため、活発に大学・企業等を訪問し713名と面会した。

②招へい研究者の支援

招へい研究者の開発テーマの事業化に向け、ラボ・ミーティングの実施、進捗管理、出口戦略立案、知財管理、課題掌握、パートナー企業とのマッチング、大学TLO・産学連携機関との連携、アドバイザーとの相談支援等を行った。

a. ラボ・ミーティングの開催

プロジェクトディレクター、コーディネータが招へい研究者の研究室を訪問してラボ・ミーティングを開催し、研究開発の進捗状況、事業化に向けた課題等に関する協議を行うとともに、研究資金・知財確保の支援活動を行なった。

b. 研究室の支援

事業化の支援やパートナー企業の紹介等を行った。

c. 成果発表会の開催（平成29年2月15日（水）実施）

平成28年度北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会開催に引き続き、推進協議会出席者に対しポスターセッションにより招へい研究者の開発成果発表を行った。

d. 海外市場向け情報発信強化

海外市場での招へい研究者の開発成果に関する引き合いや販売を目的に、クラスター推進室ホームページを活用し、平成29年2月より海外への戦略的情報発信の強化を行った。

③競争的外部資金の獲得支援

競争的外部資金の獲得支援を行ない、11件を獲得した。

	事業名	申請者
招へい研究者	・国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED） 「革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業」（前年度より継続）	富山大学（富山）
	・一般財団法人北陸産業活性化センター 「R&D推進・研究助成事業」	富山大学（富山）
	・同上（前年度より継続）	富山大学（富山）
招へい研究者以外	・経済産業省 「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」	タカタ精密工業(株)（富山）
	・同上	渡辺薬品工業(株)（富山）
	・(公財) 富山県新世紀産業機構 「とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド」（前年度より継続）	(一社) moribio 森の暮らし研究所・藤岡園（富山）
	・国立研究開発法人科学技術振興機構 「マッチングプランナープログラム」	石川県工業試験場（石川）
	・同上	富山高等専門学校（富山）
	・一般財団法人北陸産業活性化センター 「R&D推進・研究助成事業」（前年度より継続）	福井県立大学（福井）
	・一般財団法人北陸産業活性化センター 「R&D推進・研究助成事業」	富山大学（富山）
	・(公財) 石川県産業創出支援機構 「いしかわ次世代産業創造ファンド 次世代産業創造支援事業（ライフサイエンス）」	(株)リジョイスカンパニー(石川)

④医療機器産業の取り組み

北陸地域の医療機器生産高は全国台では低位に位置しているが、ほくりく健康創造クラスターで開発した脳磁計や高速原子間力顕微鏡は、ハイテク製品として今後の北陸地域の目玉になりうるポテンシャルが高い製品であり、企業を訪問し販売戦略について情報収集を行った。脳磁計は、平成28年4月に(株)リコーが横河電機(株)から買収し継続して事業を行っている。高速原子間力顕微鏡は、(株)生体分子計測研究所（本社：茨城県つくば市）が製造販売している。平成28年度は、ベンチャー及び中小企業等の支援を行った。

支援先	内容
タカタ精密工業(株)	医薬品製造装置開発のための医療機器製造業資格取得等
富山県繊維協会グループ	薬用作物を用いた機能性繊維の開発
福井県内企業の医療機器開発	天然鉱石等を活用した医療機器の開発
カナヤママシナリー(株)、 富士リビング工業(株)	福祉機器の開発

(株)カレアコーポレーション	マイクロ波ドップラセンサを用いた計測システム開発
富山大学附属病院 医療福祉 機器研究会	医療福祉機器の新規開発課題の探索
(株)ハイメック	眼鏡用眼振撮像機器の事業化
Hikari Design Labs (HDL)	マイクロ波を用いたワイヤレス給電応用システムの活用方法

a. 医療機器関連産業への新規参入に係わる情報交換会

医療機器事業化の専門家から、医療機器関連産業への新規参入に取り組んでいる企業に対し、説明・アドバイスをを行った。

〔開催日〕 平成28年10月21日（金）

〔開催場所〕 金沢市 一般社団法人石川県鉄工機電協会

〔参加者〕 30名

〔講演〕 「モノづくり企業の医療機器事業への参入、及び自社の求める技術・製品について」
一般社団法人日本医療機器工業会 副理事長 植竹 強 氏

⑤医薬品産業（機能的食品・漢方薬含む）の取り組み

北陸地域の医薬品産業のポテンシャルは高く、今後需要拡大が期待される機能的食品の新規開発に向けた研究会の開催、漢方薬の地域での生産拡大に取り組んだ。

支援先	内容
富山大学和漢医薬学総合研究所の研究 チーム	認知症予防機能を持つ食品素材開発
渡辺薬品工業(株)	医薬品製造技術の開発
富山県立大学（村上教授）	ドラッグデリバリーに関する研究
（一社）富山県薬業連合会、日医工(株)、 （株）廣貫堂	中国における医薬品販売
テイカ製薬(株)	製剤技術の機能的食品分野への応用
（株）廣貫堂	認知症の予防・進行抑制を目的とした健康食品等
（株）TOPUバイオ研究所	代謝物受託合成サービス事業の販売支援等
皇国晴酒造(株)	日本酒に係る開発

ライフサイエンス産業の育成に必要なバイオ人材の育成を目的に、地域連携コーディネータが中心となり、大学及び公設試験機関等との連携のもとに、人材育成プログラムの企画・作成支援を行い、地域資金の資金を活用してセミナー等を開催した。

a. 富山県立大学若手エンジニアステップアップセミナー

「バイオ医薬品の基礎と実際Ⅱ」のテーマで、全6回で開催した。

〔開催場所〕 富山県射水市 富山県立大学

〔主催〕 富山県立大学

〔受講者〕 28名

[カリキュラム]

回	開催日	内容
第1回	平成28年9月21日(水)	基礎編：バイオ医薬とは(概論)
第2回	平成28年10月5日(水)	基礎編「バイオ医薬の構造解析」
第3回	平成28年10月12日(水)	実践編「バイオ医薬に関する規制」
第4回	平成28年10月19日(水)	実践編「バイオ医薬の生産の実際」
第5回	平成28年10月26日(水)	実践編「バイオ医薬の品質試験や承認申請の実際」
第6回	平成28年11月9日(水)	「バイオ医薬の課題と今後の方向」

b. バイオ人材育成トレーニングコース(一般コース)

「バイオ医薬(原薬)の品質管理の実際を学ぶ」をテーマに、バイオテクノロジーに関わる研究者や技術者のレベルの向上を目的とした講義・実習を、2日間で開催した。

[開催場所] 富山県射水市 富山県立大学

[主催] 富山県バイオ産業振興協会

[参加者] 16名

[カリキュラム]

平成28年11月10日(木)	糖鎖構造解析試験
平成28年11月11日(金)	生体分子間相互作用解析試験

⑥医療分野でのネットワーク構築

当クラスターの重点取組み3疾病(広汎性発達障害、認知症、がん・生活習慣病)に対し、大学・企業等を訪問し、技術シーズ・ニーズ及びその他情報を収集しデータベース化を行ない、テクノマップを制作し、テクノマップ活用による新たな研究開発課題の発掘、産学官金共同開発プロジェクトの立上げ、競争的外部資金獲得の支援等を行った。招へい研究者の集積、大学等の知のネットワーク構築に関する医薬品、医療機器他全てに係り、北陸3県の県境を超えた連携、新たな研究開発課題の発掘、各機関のネットワーク構築、ニーズに応じたマッチング等で大きな効果を得ることができた。

⑦健康産業におけるネットワーク構築

北陸地域の健康産業のポテンシャルは低いため、イノベーション創出の原動力となる市場ニーズの獲得に取り組んだ。平成28年度は、平成26年度から継続している北陸3県の看護系8大学が参加した北陸ライフケアシステム研究会の運営支援を行い、国の大型外部資金獲得等を目指し新たな研究テーマ等を開発した。平成27年度に設立した「北陸なつめ研究会」も継続し、機能的食品開発や企業の支援等を行った。

a. 北陸ライフケアシステム研究会

<第1回>

〔開催日〕平成28年6月24日(金)

〔開催場所〕金沢市 石川県庁

〔参加者〕研究会委員17名

〔内容〕富山大学田村先生、金沢大学渡辺先生の研究紹介

<第2回>

〔開催日〕平成28年10月4日(火)

〔開催場所〕金沢市 石川県庁

〔参加者〕研究会委員25名

〔内容〕金沢大学須釜先生他3件の研究発表

<第3回>

〔開催日〕平成28年12月22日(月)

〔開催場所〕金沢市 石川県庁

〔参加者〕研究会委員13名

〔内容〕富士通北陸支社 村上干城氏他2件の研究報告

<第4回>

〔開催日〕平成29年3月9日(木)

〔開催場所〕金沢市 石川県庁

〔参加者〕研究会委員17名

〔内容〕研究紹介

「社会の持続的な発展とライフケアシステム」

北陸ライフサイエンスクラスター特別アドバイザー林勇二郎他9件の報告

b. 第5回北陸なつめ研究会

〔開催日〕平成28年9月1日(木)

〔開催場所〕富山市 富山大学附属病院

〔参加者〕総会15名、研究会32名

〔主催〕北陸なつめ研究会

c. 個別支援

支援先	内容
(一社) moribio 森の暮らし研究所	クロモジ茶成分に関する機能性調査
富山高等専門学校	壁紙材料の開発
日華化学(株)	高速原子間力顕微鏡によるバイオイメージングの情報提供等
富山県立大学	ドラッグデリバリーシステムに関するマッチング等
(株)インテック	ICTを用いた健康管理手法の開発

(株)リジョイスカンパニー	高齢者見守りサービスに関する北陸先端技術大学院大学、石川県立大学とのマッチング
アクティブリンク	開発費の獲得
特定非営利活動法人 Team DiET	生活習慣病の予防研究会を設立
福井県立大学生物資源学部	タウリン含量の高い海産物の機能性表示食品開発
ユメロン黒川	ペットの再生医療事業者とのマッチング
福井大学子どもこころの発達センター	腸内細菌と発達障害の関係
(一財)北陸予防医学協会	保健指導におけるICT活用可能性
石川県かほく市	神奈川県未病産業モデル事業紹介等

d. 第7回北陸ライフサイエンスクラスター主催シンポジウム開催

〔テーマ〕 「ライフサイエンス産業の成長戦略」～腸内細菌研究の最前線～

〔期 日〕 平成28年10月3日（月）

〔会 場〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕 51名

- ・ 基調講演：「ヒト腸内マイクロバイオー無のメタゲノミクス」
早稲田大学理工学院先進理工学研究科 教授 服部 正平 氏
- ・ 講演：「ヒト腸内細菌と疾患の関連性及びその医療応用の可能性について」
東京工業大学生命理工学研究科 准教授 山田 拓司 氏
「腸内細菌叢と肝発癌」
金沢大学医薬保健研究領域医学系革新予防医学科 助教 飯田 宗穂 氏
「腸内細菌によるエピジェネティクス修飾と免疫調節」
富山県立大学生物学教室 講師 古澤 之裕 氏
「新奇プロバイオティクス乳酸菌の探索から応用まで」
石川県立大学生物資源工学研究所 助教 松崎 千秋 氏
「健康寿命延伸のための大腸内ポリアミン増強食品の開発」
協同乳業株式会社 研究所技術開発グループ 主任研究員 松本 光晴 氏
「ヨーグルトが腸内環境および生体機能に及ぼす影響」
株式会社明治 研究本部 機能科学研究所 乳酸菌研究部 部長 木村 勝紀 氏

⑧展示会

招へい研究者が開発した製品、大学等知のネットワークにより開発された製品の出口拡大を目指し、地域内外で開催された展示会へ出展し情報発信を行なった。

a. 国内展示会

(a) ビジネス創造フェアいしかわ2016

〔開催日〕 平成28年5月19日（木）～21日（土）

〔開催場所〕 金沢市 石川県産業展示館2号館

〔主催〕 (公財)石川県産業創出支援機構

(b)第3回みやぎ医療機器創生産学官金連携フェア

〔開催日〕 平成28年7月15日(金)

〔開催場所〕 宮城県仙台市 アエル

〔主催〕 知と医療機器創生宮城県エリア

(c)北陸技術交流テクノフェア2016

〔開催日〕 平成28年10月20日(木)～21日(金)

〔開催場所〕 福井市 福井県産業会館

〔主催〕 技術交流テクノフェア実行委員会

(d)Matching HUB Kanazawa 2016

〔開催日〕 平成28年11月2日(水)

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔主催〕 北陸先端科学技術大学院大学

(e)地域イノベーションシンポジウム2016 in 熊本

〔開催日〕 平成28年11月28日(月)～29日(火)

〔開催場所〕 熊本市 ホテルメルパルク熊本

〔主催〕 文部科学省

(f)地域イノベーション広域連携シンポジウム「地域製品の育成と機能性評価への取組」

〔開催日〕 平成29年1月18日(火)

〔開催場所〕 川崎市 かながわサイエンスパーク

〔主催〕 神奈川科学技術アカデミー、(公財)北海道科学技術総合振興センター

b. 国際展示会

(a)Bio Japan 2016

〔開催日〕 平成28年10月12日(水)～14日(金)

〔開催場所〕 横浜市 パシフィコ横浜

〔主催〕 Bio Japan組織委員会

⑨国内広域連携

a. 地方広域連携会議

さっぽろヘルスイノベーション“Smart-H”の主導により、文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラムに係っている北陸、北海道、栃木、神奈川、静岡、けいはんな(京都府・大阪府・奈良県)、和歌山、沖縄の各地域が連携し、新プロジェクトの創設を文部科学省へ提案するための協議を行った。その結果、公益財団法人北海道科学技術総合振興センターと当クラスターの連携により、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムへ応募することになった。

⑩海外市場マーケティング

a. 国際技術動向調査ユニット会議

国際競争力強化のため、国際技術動向調査ユニット委員を委嘱している知的財産権分野の専門家から、招へい研究者、大学の知的財産権担当者、その他研究者に対し、ライフサイエンス分野の特許に関するセミナーとアドバイスをを行った。

<第1回>

〔開催日〕 平成28年10月20日（木）

〔開催場所〕 石川県河北郡内灘町 金沢医科大学

〔参加者〕 国際技術動向調査ユニット委員 塩澤寿夫氏（特許業務法人特許事務所サイクス 弁理士）他20名

<第2回>

〔開催日〕 平成28年10月21日（金）

〔開催場所〕 富山市 （一財）北陸産業活性化センター 富山ランチ

〔参加者〕 弁理士 塩澤寿夫氏（特許業務法人 特許事務所サイクス）他3名

<第3回>

〔開催日〕 平成28年10月21日（金）

〔開催場所〕 富山県射水市 富山県薬事研究所

〔参加者〕 弁理士 塩澤寿夫氏（特許業務法人 特許事務所サイクス）他富山大学高津研究室及び共同研究を行っている富山県薬事研究所の研究員等

b. 第17回北陸（日本）・韓国経済交流会議

〔開催日〕 平成28年8月31日（水）

〔開催場所〕 富山市 富山第一ホテル

〔主催〕 北陸経済連合会、北陸AJEC（北陸環日本海経済交流促進協議会）

c. 第4回富山・バーゼルジョイントシンポジウム

〔期間〕 平成28年8月25日（木）～26日（金）

〔開催場所〕 スイス バーゼル大学

〔参加者〕 富山県立大学 西川美宇（招へい研究員）

d. テクノセレクション（英語版）の作成

北陸地域のライフサイエンス産業のポテンシャルの高さを国内外へ情報発信する目的で、競争力が強い製品（16製品）に絞り込みを行い、日本語と英語による冊子（各500部）を作成するとともに、ホームページからも国内外に発信を行った。

e. ミャンマーでの医薬品・医療機器事業等の調査

<第1回>

富山大学、富山県が平成26年7月より共同で取り組んでいる「ミャンマーにおける伝統医薬品の品質確保を通じたプライマリーヘルスケア向上事業」は、同国の伝統医薬品の

品質管理等に係る技術的支援を行っている。今回富山大学紐野教授に同行し、ミャンマーの伝統医療局、食品医薬品局他を調査し情報収集を行った。

〔訪問日〕 平成28年9月26日（金）～10月1日（日）

〔訪問先〕 保健・スポーツ省伝統医療局、保健・スポーツ省食品医薬品局（FDA）、ミャンマー医薬品・医療機器工業会（MPMEEA）、JETRO ヤンゴン、JICA ミャンマー事務所

<第2回>

再度ミャンマーを訪問し、医療・薬事制度、医薬品の生産、流通状況等を調査するとともに、富山県の医薬品について情報提供を行った。

〔訪問日〕 平成28年12月5日（月）～11日（日）

〔訪問先〕 保健・スポーツ省食品医薬品局（FDA）、マンダレー伝統医療大学、国立製薬工場（伝統医療局管轄）、民間生薬農場、民間製薬企業、国立製薬工場（工業省管轄）、在ミャンマー日本国大使館、JICA ミャンマー事務所、現地ドラッグストア、国立新ヤンゴン病院

<第3回>

前回のミャンマーでの情報提供に対し、引合等が出てきたので再度ミャンマーを訪問し対応を行った。

〔訪問日〕 平成29年2月12日（日）～19日（日）

〔訪問先〕 保健・スポーツ省食品医薬品局（FDA）、マンダレー伝統医療大学、マンダレー商工会議所、国立製薬工場（伝統医療局管轄）、民間製薬企業、国立製薬工場（工業省管轄）、JICA ミャンマー事務所

⑪研究設備・機器等の共用化

大学、県、県支援機関と連携して共用機器の調査を行い、機器データベースを作成してホームページに掲載するとともに、地域連携コーディネータが大学の研究室、企業訪問を通じて情報を紹介し、その利用促進を図った。

⑫イノベーションエコシステム構築の取り組み

（一財）北陸産業活性化センターが実施した「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積に関する調査及び研究」に協力を行った。

⑬第41回（平成28年度）井上春成賞の受賞

北陸ライフサイエンスクラスターに関係ある2件が選定された。

受賞テーマ	受賞者
レーザー微細溶接による高機能チタン製眼鏡フレームと医療機器の開発	研究者：大阪大学 名誉教授 片山聖二 企業：(株)シャルマン
高速バイオ原子間力顕微鏡	研究者：金沢大学理工研究域 バイオAFM先端研究センター 特任教授 安藤敏夫 企業：(株)生体分子計測研究所

D. 会議・懇談会等の活動

①外部評価委員会(年1回開催)

平成28年度のクラスター事業に関し、知のネットワーク活動や研究開発の推進状況を外部評価委員に説明し評価を受けるとともに、研究者相互の情報共有を行った。

〔開催日〕 平成28年12月2日(金)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕 評価委員6名 招へい研究者の研究開発に係る研究代表者、研究者18名
他 県・支援機関担当者

②北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会及び招へい研究者成果報告会

a. 推進協議会

〔開催日〕 平成29年2月15日(水)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔議題〕 平成28年度活動報告と平成29年度活動計画(案)について

b. 招へい研究者の研究成果発表会

〔開催日〕 平成29年2月15日(水)

〔会場〕 金沢市 金沢都ホテル

〔内容〕 研究開発成果の発表(ポスターセッションにて実施)

③バイマンズリーミーティング(2ヶ月毎に開催)

北陸ライフサイエンスクラスターの関係者が出席し、事業推進に関する課題解決と情報共有を主な目的に開催した。

④経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局との連携

経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局事業と連携し、『北陸地域ライフサイエンス産業創出支援事業』において同支局が主催するライフサイエンスセミナーについて、北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会が「後援」の協力を行った。

E. 成果

招へい研究者関連では、富山大学磯部研究室で、迅速・高効率に抗体を取得する技術を生かして、計画より1年前倒しで企業へ技術移転が行われ、製品販売が開始されることになった。富山県立大学の代謝物の受託製造では、大手製薬企業との提携が行われ売上拡大が見込めることとなった。福井大学で開発中の脳外科用手術器具も製品が完成し、国内外市場で販売することとなった。

大学等知のネットワーク構築では、コーディネータが中心となって取り組んだテクノマップなどのデータベースの強化により、産学のマッチングが促進された。

これまでの知的クラスター事業の研究開発成果についてもコーディネート活動を継続的に
行い、金沢大学で「プローブ走査型バイオ原子間力顕微鏡」が製品化に至り、創薬などの基盤
ツールとして応用が期待される。その他、脳磁計は横川電機㈱から㈱リコーが買収を行い事業
継続が決まったので、新技術開発に向けた支援要請を受け、支援を行うこととなった。

4. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成（R&D推進・研究助成）事業

企業・大学等の研究機関から、①エネルギー・②環境・③ものづくり・④製造技術・⑤地域活性化の5分野で案件を募集し、審査委員会にて厳正に審査し、助成対象者を決定した。交付決定通知書交付式では、併せて研究助成成果発表会を開催した。

<審査委員会>

〔開催日〕 平成28年7月8日（金）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔委員〕 委員長 中村 守 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター
上席イノベーションコーディネータほか4名

(1) 応募件数と助成決定結果

応募件数	助成件数	助成金額
18件	4件	11,980千円

(2) 研究テーマと助成対象者

研究テーマ	申請者	助成金 (千円)
工作機械用アタッチメント装置へのCFRP製部品の活用	津田駒工業(株) 代表取締役社長 高納 伸宏	3,000
神経回路網の再構築による認知症予防・改善のための機能性表示食品の開発	富山大学和漢医薬学総合研究所 神経機能学分野 准教授 東田 千尋	3,000
生薬甘草に含まれる抗メタボ作用成分を活用した医薬品原液・機能性食品原料の開発	富山大学大学院 医学薬学研究部（医学） 客員教授 長井 良憲	2,980
クリーンディーゼル用部品を目指した高機能難加工材の冷間鍛造加工に関する研究開発	富山大学大学院 理工学研究部（工学） 准教授 会田 哲夫	3,000

<交付決定通知書交付式・研究助成成果発表会>

〔開催日〕 平成28年7月28日（火）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔成果発表〕 平成24～25年度採択

発表テーマ	発表者
高齢者、小児、患者などが服用しやすい経口固形製剤に関する研究	テイカ製薬株式会社 創薬新製剤研究部長 島谷 隆夫氏
布模様検出機構つきニット織り傷検出システムの開発	富山県立大学 准教授 中田 崇行氏

また、平成26年度の採択分について、成果報告を会報に掲載し、北陸技術交流テクノフェアで、成果報告のパネルを展示した。

5. 北陸地域の産業活性化のための普及啓発事業

(1) 講演会・セミナー等の開催

A. シリコンバレーに学ぶ新規事業・新産業創出に関する講演会

地域における産業の生産性向上や新産業創出の手段として、様々なイノベーションを促進するための産業集積が認識されている。多くの企業や関係組織が競争しつつ同時に協力し、共通性や補完性により連結され、それによってイノベーションが促進される産業集積を目指し、多様な組織間における活発な連携と競争を通じて、北陸地域産業の競争力の向上と北陸地域経済の活性化を目指すことが重要である。

そこで、イノベーションの先進地、シリコンバレー在住20年で数々の体験を持たれる講師を招請し、講演会を開催した。

〔開催日〕平成28年9月30日（金）

〔開催場所〕金沢市 ホテル日航金沢

〔後援団体〕北陸経済連合会、北陸環日本海経済交流促進協議会

〔参加者〕71名

〔演題〕「ベンチャー創業とクラスター」

～シリコンバレーの現状～

〔講師〕B-Bridge International 代表取締役兼 CEO

シリコンバレー日本人起業家ネットワーク会長 榊本 博之 氏

B. 平成27年度調査・研究事業報告会

平成27年度に実施した調査・研究事業「北陸地域の製造業における産業観光の現状と課題に関する調査・研究」および「北陸地域における中小企業の雇用に関する調査・研究」の報告会を実施した。

〔開催日〕平成28年7月28日（木）

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

a. 「北陸地域の製造業における産業観光の現状と課題に関する調査・研究」

調査・研究の実施内容について、(一財)北陸経済研究所 地域開発調査部担当部長 倉嶋英二氏が報告を行い、次いで本調査事業の委員会委員長である横浜商科大学商学部教授 羽田耕治氏が、基調講演を行った。

〔参加者〕54名

〔第1部：調査報告〕

一般財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部 担当部長 倉嶋 英二 氏

〔第2部：基調講演〕

「北陸地域における産業観光の可能性と展望」

<講師> 横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科 教授 羽田 耕治 氏

b. 「北陸地域における中小企業の雇用に関する調査・研究」

調査・研究の実施内容について、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)経済政策部 主任研究員 平田 薫 氏が報告を行い、次いで本調査事業の委員会委員5名によるパネルディスカッションを行った。

〔参加者〕 54名

〔第1部：調査報告〕

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

経済政策部 主任研究員 平田 薫 氏

〔第2部：パネルディスカッション〕

<モデレーター>

島根県立大学総合政策部 准教授・キャリアセンター長 久保田 典男 氏

<パネリスト>

一般社団法人富山県経営者協会 事務局長 松浦 辰夫 氏

金沢工業大学産学連携局 次長 福田 崇之 氏

清川メッキ工業株式会社 常務取締役 清川 忠幸 氏

福井大学 学務部 就職支援室長 大橋 祐之 氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 経済政策部 主任研究員 平田 薫 氏

(2) 技術シーズ(研究成果)の発表会の開催

A. 中部イノベネット「産業技術の芽」シーズ発表会・産業技術総合研究所技術普及講演会

北陸地域の産業の高度化や新産業の創出等の支援活動として、中部イノベネットおよび産業技術総合研究所中部センターと共催してナノテクノロジー関連の技術シーズを紹介した。

〔開催日〕 平成28年10月7日(金)

〔開催場所〕 富山市 富山県民会館

〔共催団体〕 中部イノベネット、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

〔参加者〕 57名

〔発表テーマ〕

第1部：[ナノ粒子分散技術]

- ・「分散性に優れたコアシェル型ナノ粒子の開発とその応用」

産業技術総合研究所 中部センター

- ・「金属ナノ粒子の分散状態を簡便に樹脂に導入」～金属ナノ粒子/高分子複合フィラー～

富山高等専門学校

- ・「電気化学的分散技術と機械的分散技術を複合させた新規分散プロセスの紹介」

～ナノ粒子・ナノファイバー生成のための微細化技術の高度化～

富山県工業技術センター

第2部：[ナノ材料応用技術]

- ・「粘土ポリマーコンポジット材料の設計と応用」

産業技術総合研究所 東北センター

- ・「自ら傷を修復する新しい複合材料」
～マイクロカプセルを用いた自己修復性炭素繊維強化高分子材料～
富山県立大学
- ・「環境低負荷型樹脂への応用」～セルロースナノファイバーの結晶核剤としての検討～
名古屋市工業研究所
- ・「インテリア用の黒漆を開発」～漆への超微粒子配合による硬度および耐光性の向上～
石川県工業試験場

(3) 情報提供事業

A. 会報の発行

会報97号（平成28年8月）、98号（平成28年12月）、99号（平成29年3月）を発行し、関係先に配布した。

B. ホームページによる情報発信

当財団のホームページを随時更新し、各種情報のタイムリーな提供を実施した。

- ・ 講演会、セミナーの開催案内
- ・ R&D推進・研究助成事業の募集案内
- ・ 事業計画書、会報誌の掲載 ほか

C. パンフレットの発行

当財団の概要や事業などを紹介したパンフレットを作成し、周知活動に使用した。

6. 連絡会議等の開催

(1) 連絡会議

当財団の事業活動と意を同じくする全国の産業活性化センター及び地域技術センターと、それぞれの地域事情や共通課題の解決に向けて、意見交換や交流を図った。

A. 第44回全国産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成28年10月27日(木)～28日(金)

〔開催場所〕 大阪市 ヴィアール大阪 他

B. 全国地域技術センター連絡協議会 事務連絡会

第1回 〔開催日〕 平成28年7月15日(金)

〔開催場所〕 東京都 霞山会館

第2回 〔開催日〕 平成28年11月10日(木)～11日(金)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル 他

C. 第15回北陸・中部産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成28年11月22日(火)

〔視察場所〕 石川県河北郡内灘町 金沢医科大学病院 再生医療センター

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

(2) 賛助会員企業・団体連絡会

賛助会員企業・団体との情報交換を密に行うために、管理部門及び総務部門の代表の皆様に対し、事業計画や事業予算及び主要実施業務を説明し、当財団に対する理解と指導・支援を求めた。

〔開催日〕 平成28年4月26日(火)

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔出席会員企業〕 10社

Ⅱ. 総務事項

1. 理事会の開催

(1) 第18回理事会

- 〔開催日〕 平成28年6月7日（火）
〔場 所〕 ホテル日航金沢
〔出席者〕 理事8名、監事2名
〔議 案〕 第1号議案 平成27年度事業報告書（案）について
第2号議案 平成27年度財務諸表（案）及び監査報告書について
第3号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び監査報告書について
第4号議案 平成28年度 収支（損益）補正予算（案）について
第5号議案 第16回評議員会の開催（案）について

(2) 第19回理事会

- 〔開催日〕 平成29年3月15日（水）
〔場 所〕 金沢都ホテル
〔出席者〕 理事8名、監事2名
〔議 案〕 第1号議案 平成29年度事業計画書（案）について
第2号議案 平成29年度収支予算（案）について
第3号議案 第17回評議員会の開催（案）について

2. 評議員会の開催

(1) 第16回評議員会

- 〔開催日〕 平成28年6月29日（水）
〔場 所〕 ホテル日航金沢
〔出席者〕 評議員5名
〔議 案〕 第1号議案 平成27年度財務諸表（案）及び監査報告書について
第2号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び監査報告書について
第3号議案 平成28年度収支（損益）補正予算（案）について
第4号議案 評議員1名の辞任に伴う後任評議員の選任（案）について

(2) 第17回評議員会

- 〔開催日〕 平成29年3月31日（金）
〔場 所〕 ホテル日航金沢
〔出席者〕 評議員7名

〔議案〕 第1号議案「平成29年度事業計画書(案)」について
第2号議案「平成29年度収支予算(案)」について

3. 業務及び財産状況の検査

平成28年5月31日 監事監査

4. 登記事項

平成28年4月19日 一般財団法人変更登記申請 評議員の変更

平成28年7月21日 一般財団法人変更登記申請 評議員の変更

5. 内閣府への認可申請・届出事項

平成28年6月29日 公益目的支出計画実施報告書

平成28年9月14日 公益目的支出計画実施完了確認請求書

平成29年1月16日 公益目的支出計画の実施完了の確認書受領

公益目的支出計画の実施が完了した日 平成28年3月31日

6. 労働基準監督署届出事項

平成28年7月26日 時間外労働・休日労働に関する協定届

平成29年1月30日 労働者災害補償保険給付請求

以上

【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する事業報告内容を補足する重要な事項はありません。

以 上